

アデノウイルス「m-CRA」を、本邦で独自開発した(Gene Ther 2005)。第一弾医薬の Surv. m-CRA-1 は、既存・競合医薬の性能を凌ぐ性能を科学的に明らかにし(Cancer Res et al.)、その実用化の価値を認められ厚労科研事業、AMED 橋渡し事業シーズ C などの大型事業で、グローバル実用化に耐えうる GMP 医薬品の製造、GLP 準拠の非臨床試験を海外専門機関で進めた。さらに本学で Surv. m-CRA-1 の First-In-Human の第 I 相医師主導治験(本技術分野本邦 2 例目、地方大学初)も実施・終了し、世界の競合技術を凌ぐ有望な結果(安全性と治療効果)がヒト骨軟部肉腫の患者で得られている。

さらに肺癌の医師主導治験も実施中で、また骨腫瘍での医薬品承認を視野に入れた多施設共同第二相試験を近く実施する予定であり、さらに複数の次世代医薬シーズ(様々な免疫誘導遺伝子を搭載した m-CRA)の研究開発も強力に進め、これら一連の技術は国内、国際特許として知財確保している。またこれらの医薬シーズをさらに価値を高めて、効率的に実用化(製薬会社へのライセンスなど)へと進めている。本プロジェクトにおいては、ベンチャー企業による事業化を視野にいれて開発を行う。

問い合わせ先：

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 遺伝子治療・再生医学分野

小賤健一郎

電話：099-275-5219

ファックス：099-265-9721

e-mail：kosai@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp

以上